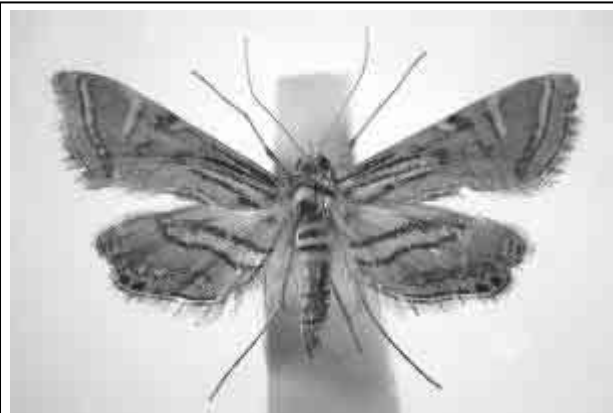


エンスイミズメイガ *Eristena argentata* Yoshiyasu

【選定理由】

幼虫は汽水域で生活する水生昆虫であるが、その環境悪化に伴い生活圏が狭められている。



弥富市鍋田, 1987年6月16日, 間野隆裕 採集

【形態】

開張 13~16mm、オレンジ色の地に、銀色及び黒色の縁取りを持った白色の縦線が前後翅の基部付近から翅頂に向かって走り、前翅には同様な横線が見られる。腹部にも黒い横線が縞状に見られる。触角は糸状。6本の脚はいずれも長く発達する。

【分布の概要】

【県内の分布】

弥富市鍋田川河口 (間野, 1989・1990)

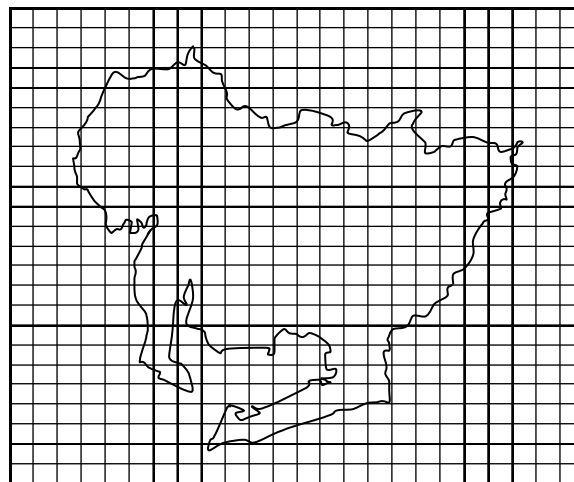
【国内の分布】

県外では三重県の紀北町汐見船津川、宮川河口、鈴鹿川河口 (矢崎・間野, 2003)、愛媛県、徳島県吉野川、奄美大島、九州熊本県 (大塚, 1996)、対馬で記録されている。

【世界の分布】

現状では日本特産種。

県内分布図



【生息地の環境 / 生態的特性】

Yoshiyasu (1988) によって新種記載された種。和名は「塩水」の意で、その名の通り幼虫は汽水域の水中で、食草である蘚類をつづって巣を作り、その中で生活するという特異な生態を有する。成虫は5月から10月まで発生する。

【現在の生息状況 / 減少の要因】

隣県の生息状況から、県内でもかつては河川の汽水域付近に広く分布していた可能性があるが、現在までのところ木曾川の汽水域でしか見つかっていない。種の盛衰は水質や食草繁茂状況などいくつかの要因によって規定されると考えられる。

【保全上の留意点】

河川及び沿岸域の水質を中心とした環境保全が最善の策と考えられる。

【引用文献】

- 間野隆裕, 1989. 木曾川河口の湿地の蛾. 蛾類通信, (143): 283-287.
間野隆裕, 1990. 愛知県海部郡弥富町の蛾. 佳香蝶, 41 (160): 46-56.
大塚 勲, 1996. 九州未記録の蛾類 10. 蛾類通信, 189: 233.
矢崎充彦・間野隆裕, 2003. 三重県におけるエンスイミズメイガの記録. 佳香蝶, 55 (216): 86.
Yoshiyasu, H., 1988. A New Estuarine and an Unrecorded Species of the Nymphulinae (Lepidoptera, Pyralidae). Kontyu 56 (1): 35-44.